

初任者研修 アンケート

研修科目：初任者研修 「実践に必要な制度③介護保険」

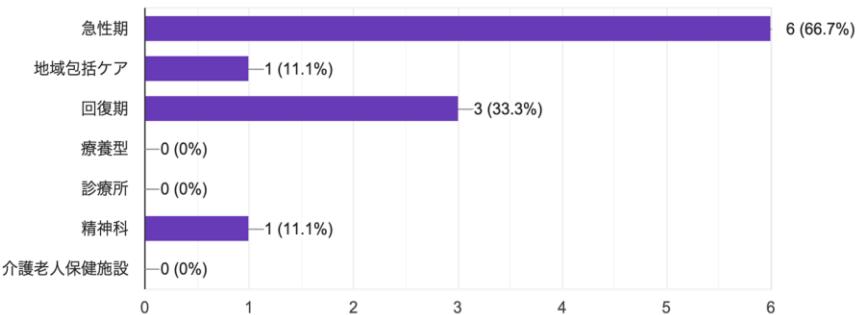
講師名：金城 裕介 氏

研修日：2025年9月7日（日）

受講者数：24名 アンケート回答者 9名

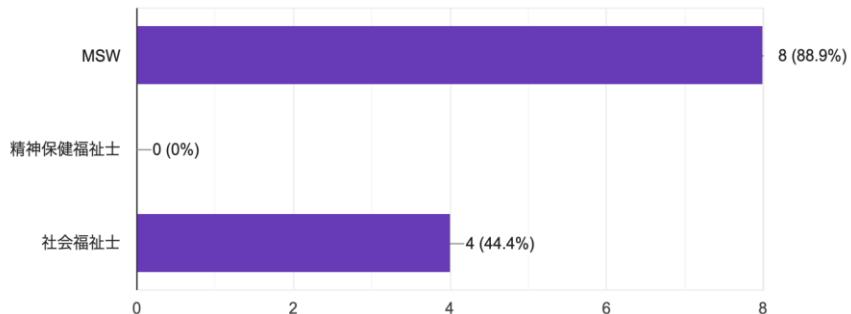
1. 所属機関は何处ですか。該当するものにチェックをしてください。

9件の回答



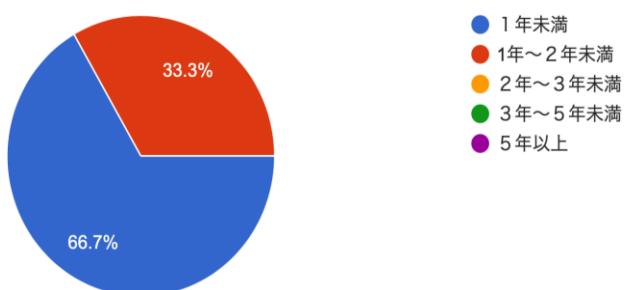
2. 職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

9件の回答



3. 経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

9件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

①ケアマネージャーについて ②介護保険の申請の流れ ③MSW・ケアマネージャーの印象

1.介護保険制度の概要

2.ケアマネージャーとの連携の中で意識していることについて他の人の意見を聞くことで学びになった

3.MSW側とケアマネージャー側の視点

1.暫定利用について。

2.ケアマネさんと支援の着地点ゴールを正確に共有する事で、患者様ご家族様に納得いただける支援が出来る。

3.ケアマネさんの現状について。

1.暫定申請 2.認定調査 3.認知機能,精神面の言語化

1.介護保険について 2.ケアマネージャーの現状 3.ケアマネージャーとの連携について

1.介護保険 2.サービス概要 3.サービス選定について

1.介護保険の認定調査の概要

2.CMが思う連携しづらいMSW

3.アセスメント時の家族の不安を深掘り説明する

①暫定でケアプランの作成を依頼する際、すぐに事業所に投げるのではなく、入院期間やリハビリの状況等MSWとして知りえてる情報や、今後考えられる事、その為にどういったサービスが必要になってくるか。等の共有を行う事が患者にとっての利益に繋がる事が分かった。

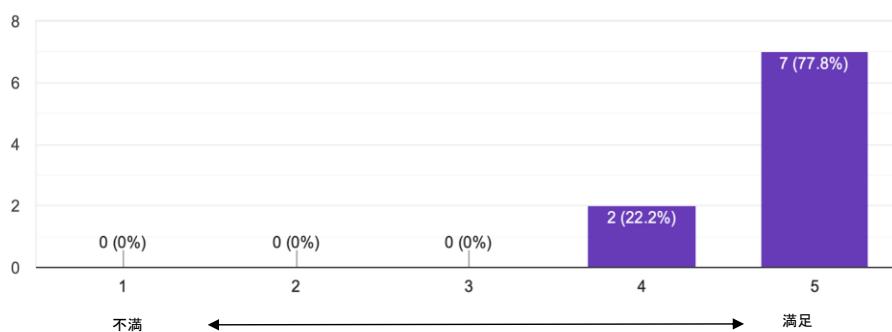
②実際ケアマネージャーはケアプラン作成以外にも安否確認や買い物支援、救急搬送への同乗などの支援を行っている現状である事を知った。身寄りのいない方々も増えてきている一方、ケアマネさんへ依頼する事もある中、ICTを活用する事でマネジメントの時間が減り、そういうケアプラン作成以外の業務を行える事ができ、患者さんの支援に繋がるのかと感じた。

③「MSWの嫌なところは」という内容で、これからケアマネさんとやり取りは増えていく中でとても貴重な話を伺う事が出来た。MSWなりのアセスメントはあるかと思うが、あくまでも本人の人生に関わっている事を軸気忘れず主観的な意見を伝えては行けないこと。ご本人の利益の為にも情報共有はとても重要であることを再理解する事が出来た。

1.介護保険認定までの流れ 2.暫定利用について 3.ケアマネとの連携において大切なこと

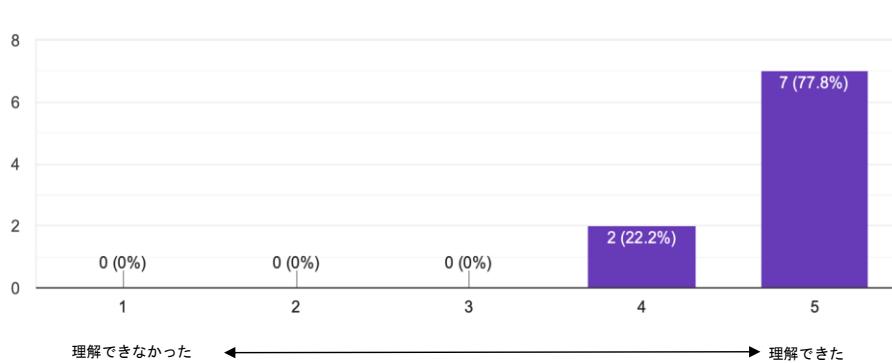
5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

9件の回答



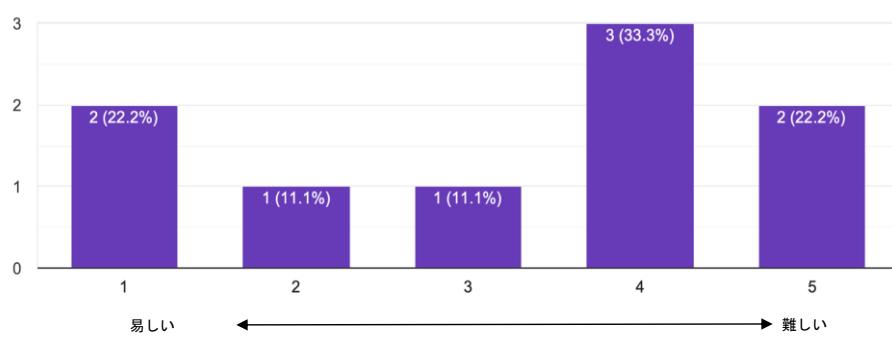
6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

9件の回答



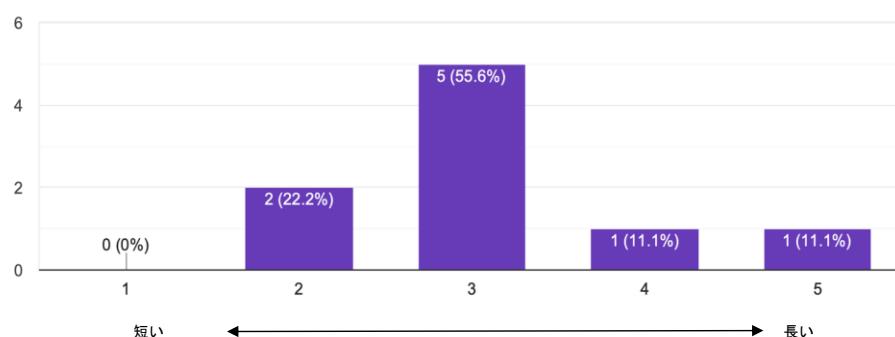
7. 講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

9件の回答



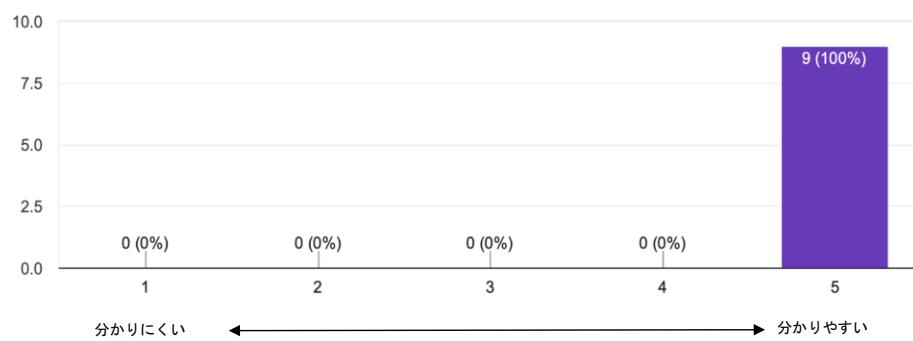
8. 講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

9件の回答



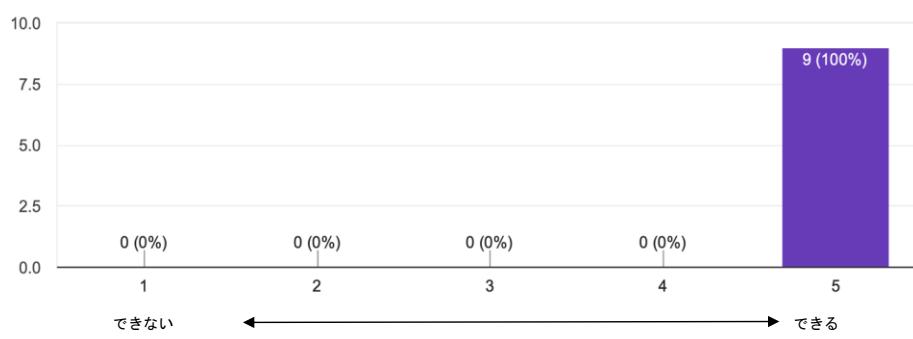
9. 資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

9件の回答



10. 内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

9件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

介護保険の申請やケアマネージャーの役割等分かりやすく説明していただきありがとうございます。

今年、介護支援専門員の試験を受けるため、試験前に講義を受けてより理解ができたかなと思いました。

認定調査時にMSWとしてできることや暫定利用の際に注意するべきことなど、介護保険のサービスだけでなく、細かな内容まで学ぶことができてとてもいい機会となりました。また、ケアマネジャーとの連携が多いなかで、どんなことを意識して行なっているのかを振り返ることで改めて連携の重要性を感じました。

MSWとして働いていると、なかなかケアマネジャーの立場に立って考えることがなかったので、今回ケアマネジャー側の意見を少し知ることができ、今後の業務に活かせたらいいなと思いました。

ケアマネさんから見た「こんなMSWは嫌だ」でのご意見から多くの学びが得られました。一例を挙げると「退院する時は連絡してとお願いしてたのに、既に退院してた。」等、依頼された事にきちんと返答する事は、信頼関係構築の基本だと思います。

お互いの立場を理解し尊重して信頼関係を築く事が、患者様ご家族様やクライエントへのご納得いただける支援の第一歩だと信じて日々の業務に取り組みたい。

ケアマネからMSWに対して思っていることというワークを行い、他の支援者の立場になることの大切さを知りました。

退院支援におけるケアマネジャーの立場を理解することで連携強化できると思った。

患者様の退院後の生活を支え続けるケアマネジャーの業務に役立てるよう意識した退院支援を行っていきたいと思った。 色んな気づきのある講義内容だった。

ケアマネが感じる連携しづらいMSWについて知ることができた。

介護保険制度を申請する上で、ケアマネージャーがいる事でケアプランの作成が出来ること、サービス利用ができ本人にとって安心した生活に繋がる事が分かった。

常にケアマネージャーも一緒になってチームで本人の支援をしている事を意識し、絶対におきざりにはせず方向性が変わったり何か変化があったら共有、報連相を忘れずに意識していきたいと感じた

実際に業務で関わっている介護保険について、ケアマネの視点から学ぶことで、介護保険認定までの流れにおける病院の機能を再認識できた。

実際にケアマネからMSWに対する貴重な意見を聞いて、この先留意して仕事しようと思った。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

高齢化が進む真っ只中で、今後予想される医療制度改革について。

施設見学

初任者研修 アンケート

研修科目：初任者研修 「退院援助①②」

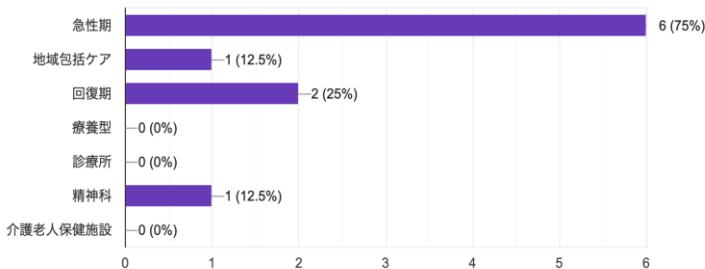
講師名：伊禮 智則 氏 ・ 泰 克之 氏

研修日：2025年9月7日（日）

受講者数：24名 アンケート回答者 8名

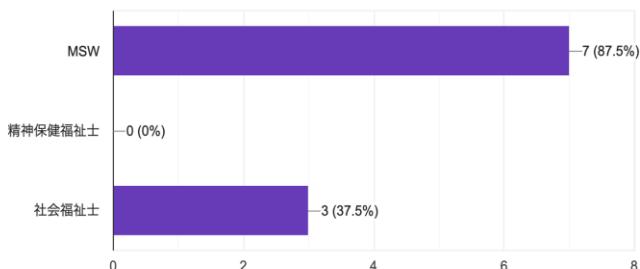
1. 所属機関はですか。該当するものにチェックをしてください。

8件の回答



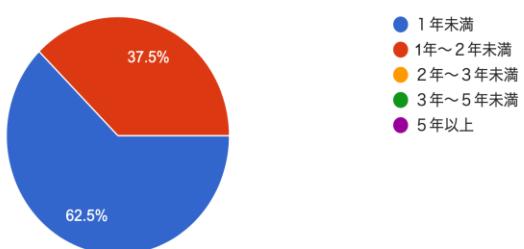
2. 職種はですか。該当するものにチェックをしてください。

8件の回答



3. 経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

8件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

1. 退院援助に必要なアセスメントのポイント
2. 支援内容に根拠を持って説明できることがソーシャルワーカーとして必要であること
3. 人と環境の相互作用

1. ソーシャルワーカーの倫理基準・行動基準 2. エコロジカル理論 3. グループワーク

1. 患者、家族の思いを大事にした退院援助の視点、知識、方法
2. 退院援助におけるアセスメント、支援計画の立て方
3. 退院援助を倫理綱領と照らし合わせて理解する

1. 情報をまとめること
2. 人々のウェルビーイングの調和を図ることを務めながら、クライエントの自己決定の尊重し活用できるようにする
3. クライエントは誰なのかということ

1. 他機関への申し送り 2. 倫理綱領 3. アセスメント

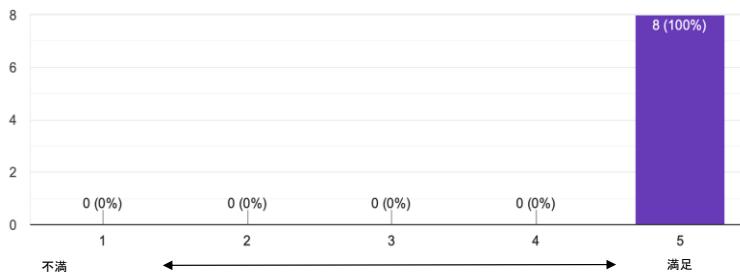
1. 退院援助 2. 必要な視点 3. 知識、方法

①退院援助 ②倫理綱領 ③魚と池の物語

1. 「申し送り」の注意点や読み取り方について。
2. 傷病手当について。
3. エコロジカル理論について。

5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

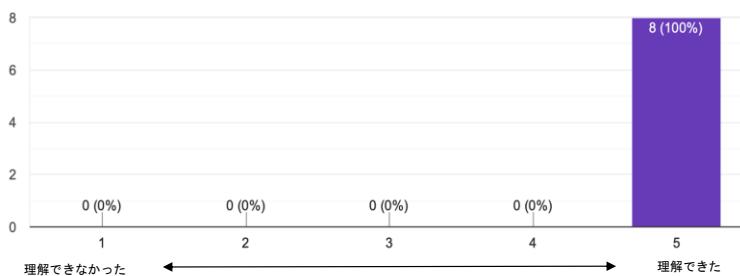
8件の回答



6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。

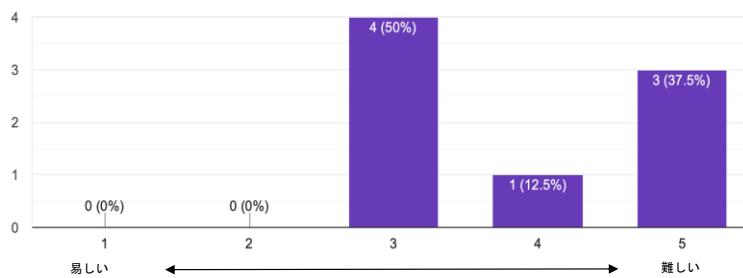
【5段階】

8件の回答



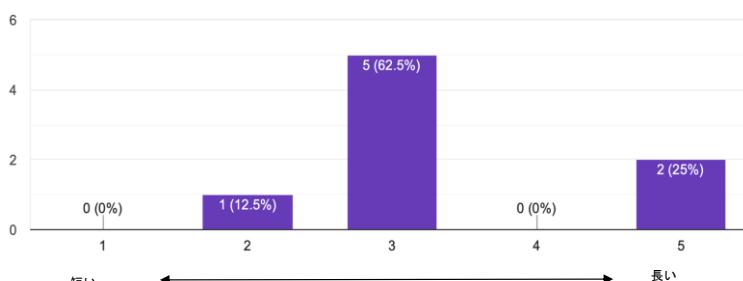
7. 講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

8件の回答



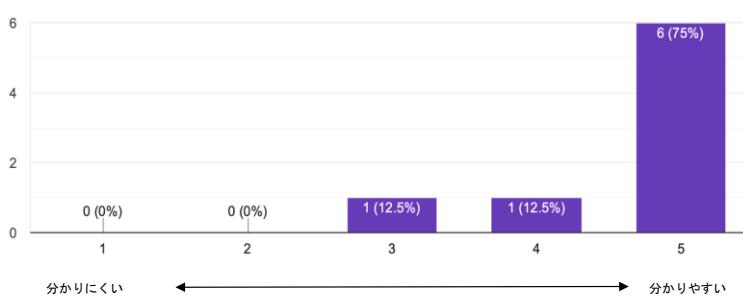
8. 講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

8件の回答



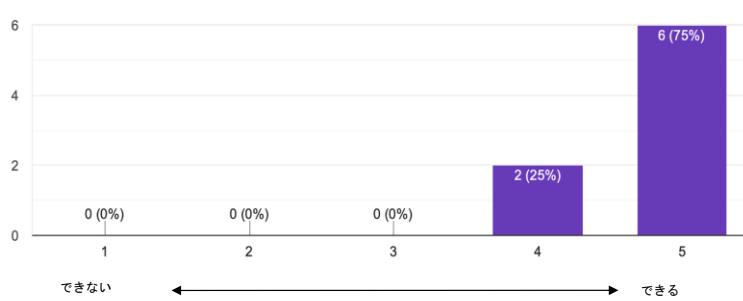
9. 資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

8件の回答



10. 内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

8件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

情報収集した内容からアセスメントに繋げるためにも、面談の重要性を感じると同時に退院援助として本人・家族が最適な選択ができるような支援が行えるように、知識があることで支援の幅が広がるなどと思いました。

また、その支援が何を根拠としているのかをしっかりと自分の言葉で説明できるように、今後の業務のなかで意識的に行い、ジレンマが生じた時には、ベースとなる価値・倫理を思い返して支援ができる社会福祉士を目指したいなと思いました。

事例が今、対応している事で考えさせられました。

倫理綱領から実際の退院援助の根拠を見つける作業はとても難しかったが、倫理綱領を参考にする事の重要性にこの講義で気付けたのはとても大きな収穫だった。
これからの業務のなかでジレンマにぶつかったり、支援の在り方に迷った時は倫理綱領を読み返してみたいと思いました。

本人、周囲の人、気持ち、経済・身体・心理面などあらゆる情報を集めまとめて、人と環境またその接点に働きかける。ほんとに難しい仕事だと、改めて感じました。
業務が忙しい中でも意識して、取り組み成長できるようにしたいです。

事例を通して申し送りから倫理綱領と支援を照らし合わせることで基礎を振り返ることができ良かったです。

グループワークを通して、患者・その家族へのアプローチするにあたって正解がない事に気づかされました。逆に正解がないからこそ、支援が必要な方へのアプローチ方法が無限にあることを知り、また支援者にとっても考え方が違うので、今後実戦で事例のようなケースがあれば、チームの意見を受け入れながら、より良い対策法を導いていきたいです。

グループワークの中でメンバーさんが積極的に発言し、その意見を肯定的に受け止め、さらに掘り下げて、まとめてました。それぞれ勤務している病棟は異なりますが、互いの領域に敬意を払って接していると感じました。

また、「クライエントの自己決定の尊重」においてジレンマが発生した場合、整合性を図るのではなく、調和を図ることに努めていきたい。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

精神疾患について

4日間の研修ありがとうございました。業務で活かしていきます。

高齢化が進む中で、今後予想される医療制度改革や法改正について。